

# 鶺鴒三小だより 八月号

令和6年文月19日 各務原市立鶺沼第三小学校

## 【8月の予定】

日	曜	行事等
1	木	夏休み
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	学校閉庁日
7	水	<b>&lt;学校閉庁日&gt;</b> 6日(火)~16日(金) この間、学校には日直もいません。 ※詳細は、配付済み別紙案内を御覧ください。
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	夏休み明け集会
29	木	
30	金	夏休み作品展(児童)
31	土	

### 子ども時代こそ 大満足の夏休みを！

児童文学作家の伊藤桃子さんが、生前に開催された御自身の個展に寄せられた「子どもたちよ」で始まるメッセージを本校児童には紹介しました。

みなさんは、「くまのプーさん」を知っていますか。私には3人の娘がいますが、特に今年27歳になる長女は、「くまのプーさん」が大好きで、小さい頃、何冊も絵本をねだられ、読まされ、いつの間にか私は、プーさんのモノマネがとてもうまくなりました。「くまのプーさん」は、外国の絵本です。その本を日本語に翻訳(直した)した人は、石井桃子さんと言います。石井さんは、「くまのプーさん」だけでなく、「ピーターラビットのおはなし」など、多くの外国の本を、日本の子どもたちに紹介した人です。みなさん向けの本(児童文学といいますが)も書かれた人です。上の言葉は、その石井さんが、子どもたち、みなさんへのメッセージとして残された言葉です。

私は、この言葉が大好きです。もうすぐ54歳になる私は、今でも子どもの頃に読んだ、「トムソーヤの冒険」を忘れていません。今もキャンプが大好きですが、それも「トムソーヤの冒険」という本が私の中にしっかりとあるからだと思います。また、よく魚釣りにも行きますが、それも、小学3年生の時に長良川で釣り上げた30センチのウグイという魚を釣ったときの、あのドキドキが忘れられないからです。料理もします。魚もさばけます。それは、小学5年生のときの、家庭科の調理実習がきっかけです。子ども時代に体験したこと、経験したことが、その後の自分の人生に大きな影響(えいきょう)を与えるのです。子どもの頃に経験したドキドキ・わくわく感が、人生を支えるのです。ですから、鶺三小のみなさん。どうぞ夏休みは思いっきり、夏休みを楽しんでください。夏休みにしか、できないことを、たくさんしてください。昨年も夏休み前の学校通信で書きましたが、みなさんには、たくさん本も読んでほしいと思います。本がみなさんを必ず育てます。私は、小学校1年生の夏休みには、絵本を50冊読みきりました。4年生では、「かかみがはらの昔はなし」を読み、その話の舞台を自転車で見に行きました。5年生では、夏休みの間に、自分で物語を書き上げました。そして、大人になって、国語の先生になりました。繰り返します。小学生の内に本をたくさん読むことは、「自分」を大切に育てることに必ずなります。本をたくさん読んで、夏休みが終わったら、是非何を讀んだのか、校長室に教えに来てください。8月28日に、元気な笑顔のみなさんと会えることを楽しみにしています。

保護者の皆様へ。皆様の御理解、御協力のおかげで、所謂1学期を無事終えようとしています。心より御礼申し上げます。ありがとうございます。暑い日が続きますので、お体を大切にされながら、お子様と共に、素敵な思い出をお作りください、夏休み明けからも、どうぞよろしく願いいたします。